

目的に合わせて書くことを選び、ことがらを整理して書こう
第4学年「お願いやお礼の手紙を書こう」東京書籍

単元のねらい

目的に合わせて内容を考え、必要な事柄を落とさずに、依頼状や礼状などの手紙を書くことができる。

【授業改善のポイント】

手紙の基本的な構成に基づいて書く能力を育てることが必要です。手紙の後付けについては、実際に手紙を書く場面を設定して、日付、署名、宛名を順に書くことだけでなく、宛名を上の方に書くことで相手への敬意を示すことにつながるなど、手紙の形式が持つ意味を理解することができるようにすることが大切です。

◆各学年の内容の系統性

<学習指導要領（B書くこと イ）>

【第1学年及び第2学年】

自分の考えが明確になるように、**事柄の順序に沿って簡単な構成**を考えること。

【第3学年及び第4学年】

文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、**段落相互の関係などに注意して**、文章を構成すること。

【第5学年及び第6学年】

自分の考えを明確に表現するため、**文章全体の構成の効果**を考えること。

<第2学年及び第3学年で取り扱う単元の例>

第2学年	第3学年
「ありがとう」をつたえよう【東京書籍】 伝えたいことを簡単な手紙に書く。	案内の手紙を書こう【東京書籍】 目的に合わせて案内の手紙を書く。
見通そう 感謝を伝えたい人に手紙を書いて送るとい う学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	見通そう 大事なことを落とさずに案内の手紙を書くとい う学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。
手紙を書こう 手紙には、相手の名前、内容、自分の名前を 書くことなど手紙の書き方を知り、感謝の気持 ちが伝わるように手紙を書く。 書いた手紙を声に出して読み返し、字の間違 いや言葉の使い方を直す。	手紙を書こう 案内の手紙に必要な事柄と手紙の構成を考 え、文章の常体と敬体の違いや宛名の書き方 に気を付けて案内の手紙を書く。 書いた手紙を友達と読み合い、よく書けてい るところや分かりやすいところを中心に感想を 伝え合う。
ふり返ろう 感謝の気持ちが伝わるように手紙を書くこ とができたかをふり返る。	ふり返ろう 大事なことを落とさずに案内の手紙を書くこ とができたかをふり返る。

◆単元の流れ（お願いやお礼の手紙を書こう）

見通そう

目的に合わせて内容を考え、必要な事柄を落とさずに、依頼状や礼状を書くという学習課題を確かめて、学習の見通しを立てる。

手紙を書こう

既習の手紙の書き方と、依頼状や礼状の書き方を比較し、目的や相手との関係性に合った手紙の書き方を知り、場面設定をして下書きし、清書する。

ふり返ろう

正しい書き方や目的に合った内容になっているかを確認、必要に応じて直した後、友達と読み合う。

Point

手紙は、書く相手や目的によって内容や形式が変わります。学年ごとに段階を踏み、実用的な文章としての手紙を書くことができるよう条件が増えていきます。ここでは、丁寧な言葉遣いで書かれていることや、手紙が前文（頭語）、本文、末文（結語）、後付けという組み立てで構成されていることを押さえることが大切です。



第2学年から第4学年で扱う複数の手紙例や友達同士のメール文を提示し、形式や言葉の使い方の違いとその理由について考え、話し合う。

家族に書いた手紙は、親しい口調で話しかけるように書いてあります。お願いの手紙は、礼儀正しい感じがしますね。



いろいろな手紙を比べてみましょう。どんな違いがあるでしょうか。

後付け	末文	本文	前文
-----	----	----	----



お願いの手紙は、あいさつと自己紹介から始めています。書き方も「いただく」のように、ていねいな言葉が使っています。

平成一十九年六月八日

森 はるか

こんにちには、はじめにお便りします。わたしは、山川小学校四年一組の森はるかといいます。今日はお願いがあってお手紙を書きました。今、わたしたちの学級では、山川地区の伝とう工芸であるやきものについて調べています。わたしは、やきものがさかんになった理由や、作品の持ちようについて知りたいと思っています。そこで、かま元である海野様には、ぜひお話をうかがいたいと思います。

調べたことは、リーフレットにまとめ、多くの人に読んでいただく予定です。ご協力をお願いします。

暑い日が続きますが、お体に気をつけてお過ごしください。

山川地区公民館館長
海野ひろき様

おばあちゃんへ

元氣ですか。

九月二十五日に、おばあちゃんたん生日会をしました。ケーキを食べたり歌を歌ったりしました。時間は、お昼の一時からです。おじさんやいとこたちも大ぜい集まります。

みんな、おばあちゃんに会えるのを楽しみにしています。おじいちゃんと一緒に、ぜひ来てくださいます。

はるか

初めて手紙を書く目上の人で、しかも、内容がお願いをする手紙だからではないでしょうか。



お願いの手紙は、他の手紙とは違って、最後に日付と相手の名前が書いてあります。



相手や手紙の内容によって、書き方が変わるといことですね。目上の人にお礼やお礼を伝える手紙を書くときは、前文—本文—末文—後付けの順に手紙を書きます。宛名を上の方に書くのはなぜでしょう。



宛名を上にと、相手を大切にしていることが伝わるのではないのでしょうか。



たしかに、手紙をもらった人は、大切にされると感じると思います。

このような手紙をもらったなら気持ちがいいと思います。お願いやお礼の手紙に書くときの約束は、相手を大切にしたい気持ちを表すためですね。

依頼状や礼状を書くときに必要な形式や言葉の使い方について確認する。

Point



そうですね。宛名を上の方に書くのは、相手を敬う気持ちを表す意味があるのです。では、書き方を確かめながら、例文を読みましょう。

手紙の後付けでは、日付、自分の名前、宛名の位置を混同している子どもが多くいます。そこで、既習の手紙の形式と比較するなど、書き方の形式の意味を考え、話し合うことで、理解を深めることができます。

◆国語で身に付けた力を他教科で活用

社会科や総合的な学習の時間では、ゲスト・ティーチャーを招いたり、見学に行ったりする機会が多くあります。このような機会を活用し、定型の依頼状や礼状を書く経験を増やしましょう。初めは手本を参考にし、次第に一人で書けるようにしていきましょう。学年が上がっても、決まった形式で手紙を書く機会を意図的に設定することで、書き方が定着するとともに、学びが生活に生きることを実感し、達成感をもって学習することができます。

物語を読んで考えたことを発表し合い、叙述を基に自分の考えをまとめよう
 第5学年「世界で一番やかましい音」ベンジャミン・エルキン作 東京書籍

単元のねらい

物語の構成をとらえながら山場で起きた変化について読み取り、叙述を基に自分の考えをまとめることができる。

【授業改善のポイント】

物語を読む際は、時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の様子の変化、主人公などの登場人物、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を理解した上で、想像を豊かにしながら読めるようにすることが大切です。

◆各学年の内容の系統性

<学習指導要領（C読むこと 文学的な文章の解釈に関する指導事項）>

【第1学年及び第2学年】

【第3学年及び第4学年】

【第5学年及び第6学年】

場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

<第4学年及び第6学年で取り扱う単元の例>

第4学年	第6学年
<p>ごんぎつね【東京書籍】</p> <p>人物の気持ちの変化と、中心となる人物とほかの人物との関わりを考えながら読み、感想を伝え合う。</p>	<p>海の命【東京書籍】</p> <p>物語が自分に最も強く語りかけてきたことをまとめ、自分の考えを伝え合う。</p>
<p>確認しよう</p> <p>「ごんぎつね」を通読し、物語で起きた出来事と中心となる人物の行動、ほかの人物との関わりなどを確認する。</p>	<p>確認しよう</p> <p>「海の命」を通読し、登場人物の考え方や生き方を、叙述や文脈に基づいて読み取る。</p>
<p>読みを深めよう</p> <p>章ごとに「ごんがどんなきつねか」話し合っ読みを深めていき、読み取ったことをまとめる。</p>	<p>読みを深めよう</p> <p>物語の山場で起きる人物の心情の変化とその理由を考えながら読み、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える。</p>
<p>自分の考えを持とう</p> <p>「ごんがどんなきつねなのか」を、兵十への償いの内容や繰り返しの言葉、ごんの内心語に着目し、豊かに想像する。</p>	<p>自分の考えを持とう</p> <p>立松和平のいのちシリーズを読み比べて、作品の主題に対する自分の考えをまとめる。</p>

◆「世界で一番やかましい音」を扱った授業の流れ

確認しよう

「設定」「展開」「山場」「結末」という物語の基本的な構成を知り、「山場」で登場人物の気持ちが大きく変わったことを読み取る。

読みを深めよう

人物の言動や様子が描かれている表現を抜き出し、そこから読み取れる人物の人柄や心情について考える。

自分の考えをもとう

「始め」の場面と「終わり」の場面の村の様子を比較し、登場人物の変化とその理由を読み取り、自分の考えをまとめる。

【始まりの場面】

人々：わめくか、どなる。

【人々の自まん】

アヒルが世界でいちばんやかましいこと。

家の戸が世界でいちばん大きな音をたててしまること。

おまわりさんが世界でいちばんけたたましい音で笛をふくこと。

【立て札】

これよりガヤガヤの都
世界で一番やかましい町

【終わりの場面】

【町の様子】

人々：静かに話す。

アヒル：やわらかな声で鳴く

家の戸：音を立てずにすつとしまる。

おまわりさん：やさしくそつと笛をふく。

【人々の自まん】

自分たちの町が、世界でいちばん静かで平和だということ。

【立て札】

ようこそガヤガヤの都へ
世界で一番静かな町



始まりの場面と終わりの場面でガヤガヤの都が変化した理由について、自分の考えをまとめましょう。



始まりの場面の立て札は「これより」なのに、終わりの場面では「ようこそ」と書かれています。訪問者を受け入れる雰囲気になっているのかな…。



Point

まずは一人一人が自分の考えをもつことができるようにします。始まりの場面と終わりの場面の描写を比較して、明確な対比になっている部分とそうでない部分に着目することも有効です。



意見を伝え合うときには、自分の考えが文章のどの叙述に基づいているのかを明確にしましょう。また、自分の考えとの共通点、相違点を意識しながら聞き、必要に応じて意見や質問を出し合しましょう。

「王子様は、それがすっかり気に入りました。」と書いてあるから、みんな王子様をもっと気に入る町にしようとしたのではないのでしょうか。



それも考えられますね。でも、王子様だけのためなら、立て札に「ようこそ」と書くのでしょうか？町の人たち自身も気に入っていると私は思います。



「人々は、自分たちの町が静かで平和だということを自まんするようになりました。」と書いてあるから、静かなだけではなく、平和になったのではないのでしょうか。



静かで平和だということは、村の人々がお互いに思いやりをもつようになったのかな。立て札の「ようこそ」にもつながりますね。

ガヤガヤの都が変化した理由は、王子様が自然の音を気に入っただけでなく、町の人たちも平和のよさに気づいたからでもあると思います。



Point

個人のまとめ例

叙述を基に根拠を明確にして自分の考えをまとめるためには、一つの場面の叙述だけを対象にするにとどまらず、複数の場面を比較したり、物語全体に広がっている複数の叙述を関連付けたりして読むことが重要です。

高学年では、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付き、自分の表現に生かして感想などをまとめることができるように指導することが大切です。

◆国語で身に付けた力を他教科等で活用

「なんとなくそう思う」ではなく、それぞれの教科の特性や身に付けたい力を踏まえて根拠となるものを明確にし、教科の言葉を使って考えをまとめることが大切です。

国語では叙述を基に自分の考えをまとめますが、算数では数字や式、図やグラフ、社会では資料、理科では実験の結果、音楽では楽譜や音符等が基になります。